



## 低学年の学びに必要な『ファンタジーの世界』って？

「なんで?」「どうして!?!」—低学年の子どもたちはいつでも、自分の内側で、縦横無尽に想いをめぐらせ、問いを動かしています。自分だけの「空想世界」「物語」。子どもたちはそんな豊かな「ファンタジーの世界」の中で、仲間とともに思いっきり遊びながら、お互いに学びを育てているといいます。いったいどういうことなのか、朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。



問い：科学者って……何をする人？ どんな人？



「科学者ってどんな人?」—日能研の「科学者講座」で的一幕、小学3年生の思い描いたイメージです。自由な発想。思うがまま。「子どもって、こんなこと考えているんだ!」と驚かされますよね。同時に思わず言いたくなってしまう—「これって、キミたちのことだよ。」—わぁ科学者がいっぱい!

世界は多くの問題を抱え、新たな問題をつくりながら、動き続けています。未来を思い描いても……正解なんてない。だからといって過去の成功事例はまず役に立たない。

そんな時代を生きる“未来の大人たち”に、いま必要な学びとは?

「このかぼちゃ、大きすぎ! どう伝えたらわかってもらえるかな?」「どうして水道は蛇口をひねると水が出るの?」「大雨のたびに山から木が流れてくるのはなぜだろう?」。身近にあるものを、ふだんの生活の中で感じる。自然や社会のしくみ、その現象や背景に目を向け、考えていく。自分自身の中から疑問が生まれる、動き出す(グッドクエスチョン!)。「未知」と出合った時も、「こうしてみようよ!」と、自分のイメージを贈ることなく提案する(ナイス

チャレンジ!)。「それってどういうこと?」仲間のイメージ、問いによって生まれる、新たな問い、問い……。それは……こうだからかな?」問われたことから動き出す、仮説を立てるチカラ。伝えたいから、さらに調査する、検証する。「ああでもある」「こうでもある」と新しい考えが融合する。自分たちとしてのいまの答えを生み出していく。—プロセスで学ぶ。日能研の「科学者講座」で展開されている学びです。

「わからない」も楽しめる。突飛、荒唐無稽、奇想天外。失敗もする。とんでもない冒険もする。どんな

ときでも探求心は止めない。未来へ向かう—。くじけない、やめない。いつもポジティブ。いろんな仲間がいる。仲間がいるから、つながりを考えだす。説明する。独創的な発想。想像力と創造力。「いま」に安住しない。考える。ふり返る。どんどん前に進む。局面を大きく切り拓くチカラを生みだす。

子どもたちが、自分で自分を育てていくために—。授業、テキスト、テスト……人も学習環境も。あらゆる場面で、日能研は、子どもたちが「ファンタジーの世界」を自由自在に駆け巡り、冒険できる環境をつくり続けています。

『ファンタジーの世界』で存分に遊ぶチカラは、大人になっても、創造的・論理的思考を生む知的エネルギーとなる。

日能研経由、私学へ。—そして未来へ。 考え方と出あう!— [科目] 国語・算数・総合

# 日能研 学ぶチカラ テスト



【科目】3科目(国語・算数・総合) 【会場】お近くの日能研各校 【時間】1回目 9:00集合/2回目 13:00集合  
※一部、教室によって実施要項が異なります。詳しくは日能研ホームページでご確認ください。



詳しくはホームページへ。 日能研 全国テスト

### 保護者会同時開催!

今回のテストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

テストの詳細・お申し込みは

日能研 検索

またはお近くの日能研へ! 以下のQRコードからも!

学校行事などで都合がつかない場合はどうぞお気軽にご相談ください。

